

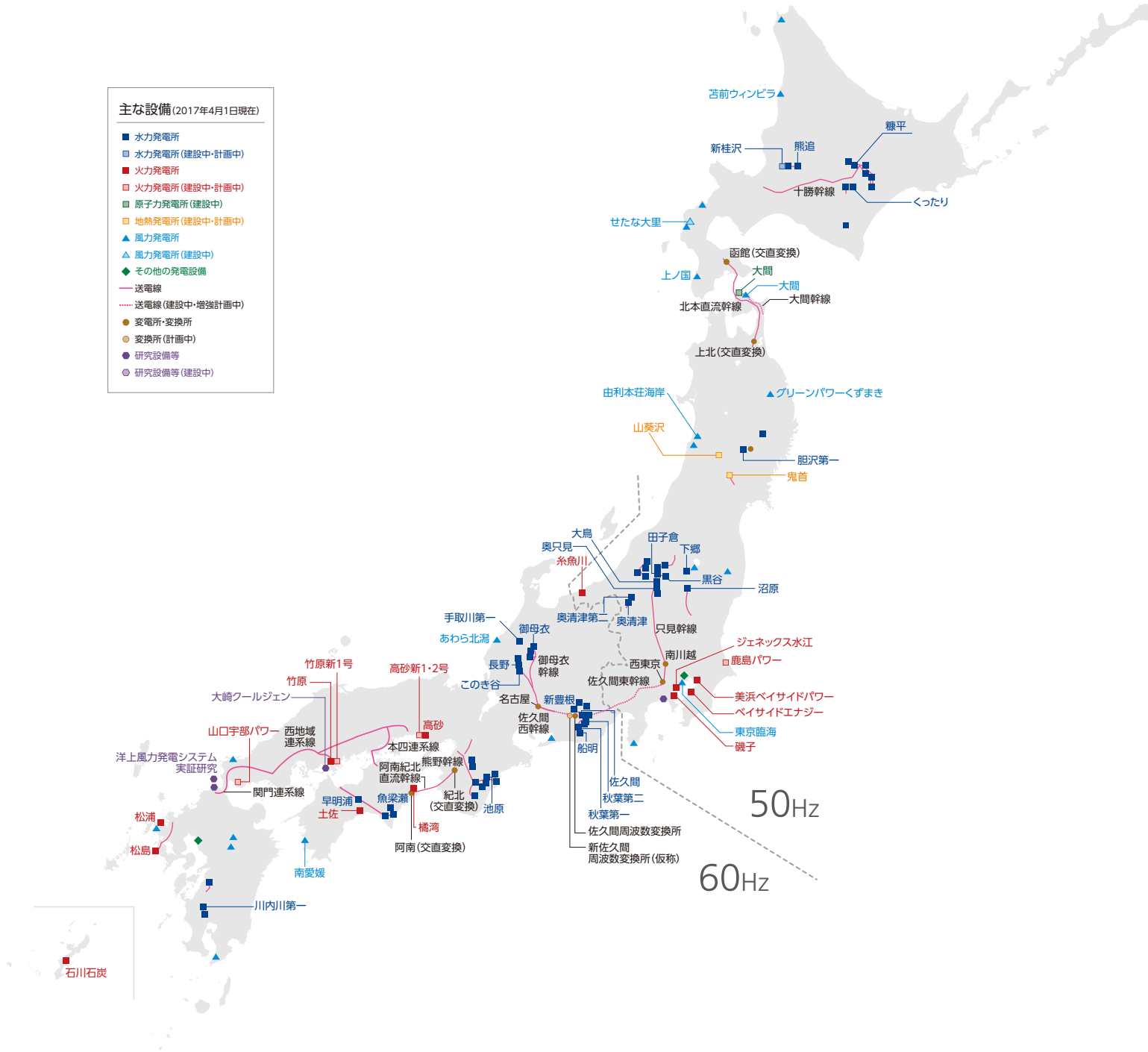
# ▶ 日本全国に展開するJ-POWERグループの事業

J-POWERグループは、日本全国に1,786万kW\*の発電所と約2,400kmの送電線や変電設備を保有・運営し、日本全体の電力の安定供給を支えています。

\*各プロジェクトの総出力に当社の持分比率を乗じて算出

## 主な設備 (2017年4月1日現在)

- 水力発電所
- 水力発電所 (建設中・計画中)
- 火力発電所
- 火力発電所 (建設中・計画中)
- 原子力発電所 (建設中)
- 地熱発電所 (建設中・計画中)
- ▲ 風力発電所
- ▲ 風力発電所 (建設中)
- ◆ その他の発電設備
- 送電線
- 送電線 (建設中・増強計画中)
- 変電所・変換所
- 変換所 (計画中)
- 研究設備等
- 研究設備等 (建設中)



## J-POWERグループの国内電気事業設備(運転中)

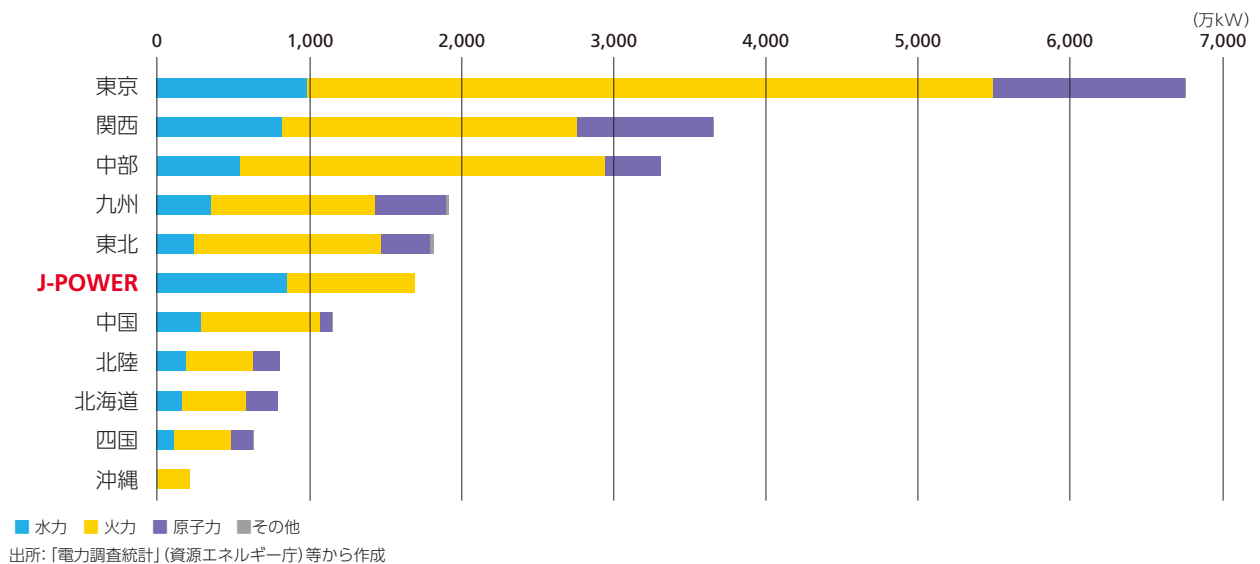
(2017年4月1日現在)

### J-POWERグループの設備

発電設備(出力)		
水力発電所	61カ所	857.1万kW
火力発電所*	12カ所	914.0万kW
風力発電所*	22カ所	44.0万kW
その他発電設備	2カ所	3.2万kW
計	97カ所	1,818.9万kW
送電設備(巨長)		
		2,410.2km
交流送電線		2,143.0km
直流送電線		267.2km
変電設備(出力)		
	4カ所	430.1万kVA
周波数変換所(出力)		
	1カ所	30.0万kW
交直変換設備(出力)		
	4カ所	200.0万kW
無線通信設備(回線巨長)		
		5,911km

\*連結子会社または関連会社の設備(出資持分割合は考慮していません)

## 電力会社別発電設備出力・構成(2017年3月)



## 日本の電源別発電電力量の推移

かつては水力発電が主流でしたが、やがて豊富で安価な石油を使った火力発電へと移行。オイルショック以降、石炭や天然ガス、原子力等の開発が進み、電源の多様化が図られています。2011年の福島第一原子力発電所事故以降は、原子力発電所の停止が長期間継続しており、徐々に原子力発電所の再稼働は始まっているものの、石炭や天然ガスによる火力発電が電力供給の主軸を担っています。

